

令和3年 月 日

印西市長 板倉 正直 様

印西市緑の基本計画検討委員会
委員長 阿部 伸 太

印西市緑の基本計画の策定について（提言）

当委員会では、令和2年8月から5回の委員会を開催し、印西市緑の基本計画（案）について、検討を行ってきました。

検討の過程において、各委員から出された意見については、概ね適正に反映され、総じて妥当であると提言いたします。

また、計画を推進する際は、特に以下の点に注力いただきたく、併せて提言いたします。

記

- 1 都市公園の整備及び管理については、利用者である市民及び対象地周辺の方々の声を反映できるよう努めていただきたい。
特に、周辺が里山環境である場合など、必要に応じて、市民や専門家の意見を聴く機会を設けるよう努めていただきたい。
- 2 緑は適正に管理されているからこそ、様々な機能が発揮されると考えます。特に都市中の緑は、管理不足による景観の悪化にとどまらず、見通しの妨げになるなどをはじめ、防犯面からも市民の生活環境に影響を及ぼすので、これらの緑について、適正な管理に努めていただきたい。
- 3 斜面林や谷津田、水路等により構成される里山については、印西市の重要な緑であるとともに、環境保全機能や防災機能等を備えたグリーンインフラとしても、また、多様な生物が息息する環境としても貴重なものであるが、特に谷津田については、作業性の悪さに伴う低生産性や後継者不足などにより、耕作放棄地が増加している一方、農地としての法の制約もあり、耕作等に取り組めるような対応策も限定されている状況である。そこで、農業従事者だけでなく、市民をはじめ広く産学官民の連携などにより対応策を検討するよう努めていただきたい。
また、里山環境全体としても、グリーンインフラ機能を活かせるよう緑の保全に向け、多方面での検討に努めていただきたい。
- 4 市街化区域の縁辺は、市街化調整区域の良好な緑を有する環境と接する重要な場所であることから、開発等を行うときは、周辺への悪影響を低減し、周囲の生態系を保つよう配慮に努めていただくとともに、新たな植樹などにより、ヒートアイランド現象をできる限り抑制することや、風の通り道への配慮をしていただきたい。
また、良好な緑による都市景観は立地企業のイメージアップ等にもつながることから、企業進出に伴うグリーンインフラを活用した緑化に関するガイドラインの策定や、モ

(案)

デル地区を選定するなどの、先進的な取り組みを検討されたい。

- 5 近年頻発する大雨等の異常気象は、二酸化炭素等温室効果ガスによる地球温暖化が影響している可能性が高いと言われており、温室効果ガスの排出量の削減について、緑の有する機能の観点等からも、健全な緑の維持保全と創出に努めるとともに、温室効果ガスの測定等の基礎的な状況把握に努めていただきたい。
- 6 印西市の多様な生態系を担う植物や生物の保護を行うとともに地域の歴史を語りシンボルとなっている巨樹・古木等の保全にも努めていただきたい。
- 7 市が策定する各種計画において、長期目標を設定する際は、地球規模での環境の変化への問題意識についても、身近な社会情勢の変化と捉え、議論をしていただきたい。

以上